

2020年度 社会福祉法人権の木福祉会 事業計画(案)

はじめに

○2019年度の概括

1. 特定処遇改善加算

消費税税率の引き上げによって創設された特定処遇改善加算を取得し、ベテラン介護福祉士を中心とした職員の処遇を改善した。

2. 働き方改革と魅力ある職場作り

働き方改革関連法に基づき、年間5日間の有給取得を進め、同一労働同一賃金等の対策について検討を開始した。また、介護職員への処遇改善金による職種間の処遇差を埋める為に給与規程の見直しを実施した。

3. 法人本部機能の強化

法人本部機能を強化するための体制整備を開始した。

4. 人材確保対策

人材確保対策として他県・海外人材の活用、ホームページのリニューアル等の対策を開始した。

5. 改修関係

瑞光の里大規模改修、第二瑞光の里空調照明の改修を実施した。

○2020年度の重点事業

半田市で唯一の「特養を運営する法人」として、その使命と責任を自覚し、地域での役割をしっかりと果たしていくため、以下の点を重点に魅力ある法人運営に努めていく。

概況

1. 法人本部機能の強化

これまで検討してきた法人本部機能について新たな体制での運用を開始する。本部機能を強化すると共に、各施設が統一された質の高いサービスの提供ができる体制を整備していく。

2. 働き方改革と魅力ある職場作り

働き方改革関連法への対応をはじめ、働きやすい職場環境を整備する為に諸規程の見直しについて検討していく。

3. 人材確保対策

法人本部の新たな体制による人材確保対策を実施し、ヒトが集まる魅力ある法人作りを進めていく。また、ICT やロボット技術等を活用したサービス提供の効率化についての検討も進めていく。

4. 新規事業

子ども分野、障がい分野をはじめとした様々な新規事業開設に向けての検討を開始する。また、既存事業の増設や設備改修なども合わせて検討を進める。

5. リスクマネジメント

大規模災害に備えBCPを作成し、非常食、防災設備等の整備を進める。

6. 地域連携

中野会との法人間連携や地域貢献をより一層進める。

## 2. 施設別計画

### 1) 特別養護老人ホーム瑞光の里

- ・【本館平均人数】特養 88 人、ショート 19.5 人を目標とする。
- ・【別館平均人数】特養 39 人を目標とする。
- ・【平均介護度】本館 4.1、別館 4.2 を目標とする。
- ・介護福祉士比率の向上を図る。(現在：48.03 人、目標：50 人)
- ・認知症介護実践リーダーの養成を進める。
- ・ユニットリーダー研修、介護福祉士実習指導者などの養成を進める。
- ・ショートステイ緊急受け入れ体制を一層強化する。(対象問わず、措置入所を含む)
- ・高齢者虐待防止指針の周知と職員教育の充実を図る。
- ・入居者様に対するサービスの質の向上につなげるため、職員が働きやすい環境を整える。
- ・地域から信頼される施設運営を行い、職員のモチベーションアップを図る。
- ・中長期にわたる設備等の改修計画に基づき施設管理を行う。

### 2) 特別養護老人ホーム第二瑞光の里

- ・【平均人数】特養 87 人、ショート 11 人を目標とする。
- ・【平均介護度】4.0 を目標とする。
- ・介護福祉士比率の向上を図る。(現在：35.6 人 目標：38.6 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努める。(継続)
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行う。(継続)
- ・介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進める。(継続)
- ・共生型サービス事業開始に伴い、障がい者の受け入れ体制を整備する。(継続)
- ・地域から頼られる施設を目指し、積極的に地域交流を進める。(継続)
- ・実習生・ボランティアの受け入れ体制を強化する。(継続)
- ・駐車場の拡充および施設設備見直しについて検討を開始する。

### 3) 特別養護老人ホーム瑞光の里 緑ヶ丘

- ・【平均人数】特養 97 人、ショート 19.5 人を目標とする。
- ・【平均介護度】4.15 を目標とする。
- ・介護福祉士比率の向上を図る。(現在：38.9 人 目標：40 人)
- ・役職者教育、職員教育を実践し、サービスの質の向上に努める。(継続)
- ・介護職員等によるたん吸引等研修の受講を計画的に進める。
- ・共生型サービスについての検討を進める。
- ・地域交流を進め、地域から頼られる施設を目指す。
- ・実習生・ボランティアの受け入れ体制を強化する。
- ・職員の顧客意識を向上させ、接遇力を高める。
- ・職員のモチベーションを高め、魅力ある施設運営を実践する。
- ・日本福祉大学半田キャンパスとの交流を進め、連携を深める。
- ・ユニットリーダー研修実地研修施設として、実習生の受入れ体制を作る。

### 4) 半田養護老人ホーム Link

- ・【平均人数】48 人を目標とする。
- ・他事業所との連絡調整強化に目を向けより良い関係構築を図る。

- ・デイサービスセンター第二瑞光の里、瑞光の里居宅介護支援事業所との連携を強化する。
- ・歯科検診の受け入れを継続し、入所者への口腔ケアの向上に努める。
- ・人員体制、業務内容の見直しをすると共に、業務の効率化を図る。
- ・職員教育を行い、認知症・処遇困難の入所者対応の技術研鑽に努め、サービスの質の向上を図る。
- ・地域との関わりを増加させ既存の関わりを継続する。
- ・特定施設についての調査、検討を進める。

#### 5) デイサービスセンター第二瑞光の里

- ・【平均人数】 27人/日（700人/月）を目標とする。（内訳：高齢24人、障がい3人）
- ・介護福祉士比率の向上を図る。（現在：5.2人 目標：7.0人）
- ・職員配置体制を見直し、適正な人員配置およびサービス内容の整理を行う。（継続）
- ・共生型サービス事業開始に伴い、障がいの受け入れ体制を強化する。（継続）
- ・新規利用者獲得を目指し、関連事業所との信頼関係構築に努める。（継続）
- ・新規利用者獲得を目指し、ニーズ調査を行い、必要とされるサービス体制の構築を行う。（継続）
- ・外部研修等を活用し、職員の援助技術の向上に努める。（継続）
- ・定員増および施設設備見直しについて検討を開始する。

#### 6) 瑞光の里居宅介護支援事業所

- ・要介護プラン作成件数 月平均 128件（2019.4～2020.1 平均 116.1件/月）を目標とする。
- ・要支援プラン作成件数 月平均 12件（2019.4～2020.1 平均 19.0件/月）を目標とする。
- ・特定事業所加算Ⅱ取得体制の維持・継続に努める。
- ・ケアマネ同士の行動を共有し、担当不在時にも迅速に対応できる体制を構築する。
- ・他法人との合同事例検討会を継続開催する。
- ・外部研修を活用し、アセスメントやプラン作成についての勉強会を開催する。
- ・社協や生活支援コーディネーターと連携し、協議の場へ参加する。
- ・各ケースの情報を共有し、事例検討を行いスキルアップに努める。
- ・瑞光プラットフォームを活用し、法人内の相談員と協力し地域との交流を図る。
- ・介護支援専門員の年間研修計画策定・実施の確認を行う。
- ・地域の困難事例の受入を継続する。
- ・介護支援専門員実務研修実習受入体制を確保する。
- ・特定事業所加算Ⅳの取得準備（退院時連携年35回・ターミナルケア加算年5回）を行う。

#### 3. 研修計画・・・別紙参照

#### 4. 会議予定・・・別紙参照